

予算

平成27年度

3月18日、平成27年度の当初予算が町議会で可決されました。一般会計予算を84億7,359万5千円で編成。特別会計と合わせた予算総額146億2,212万2千円で市川三郷町のまちづくりを進めていきます。

高齢者を敬い、子どもたちの未来に責任をもつ町政実現のための施策の充実

本年度の一般会計予算の特徴は、高齢者を敬い、子どもたちの未来に責任をもつ町政実現のための施策の充実です。福祉施策としては、平成26年度に新設した「長寿・医療費給付金事業」を継続実施し、高齢者福祉の充実を図っています。また、消費税率引上げに対する緩和対策の「臨時福祉給付金支給事業」及び「子育て世帯臨時特例給付金支給事業」についても継続実施し

ます。

子どもたちの未来に責任をもつ施策としては、特に「教育・子育て支援」「防災対策」「人口対策」の充実を図りました。

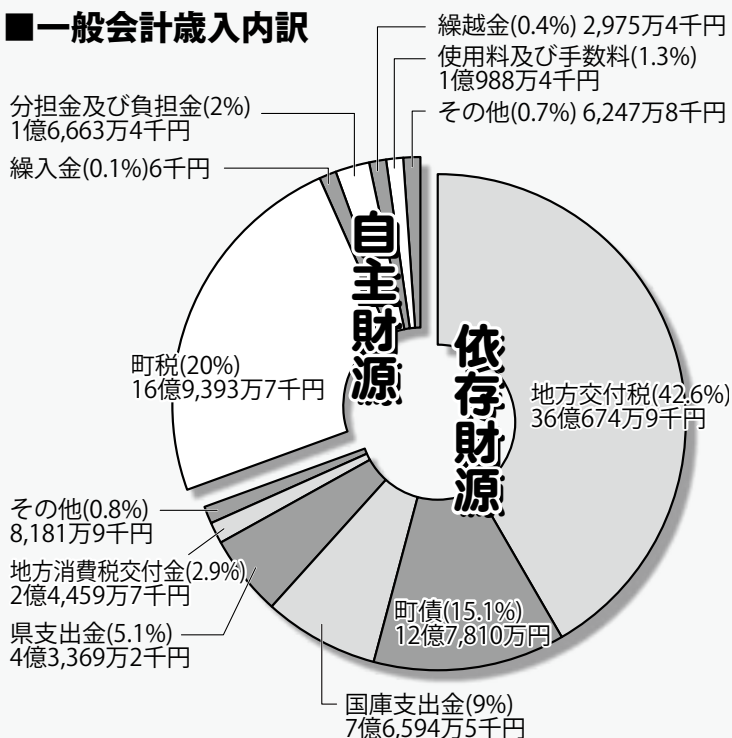
まず、教育の充実として「上野小学校大規模改造事業」「市川中学校テニスコート改修事業」「六郷小学校大規模改修事業【設計】」などの学校施設の改修などを優先的に予算化しました。また、子育て支援対策として、県内でも手厚い支援となる「ワクチン接種事業」「子育て医療費助成事業」「地域子育て支援センター事業」及び「放課後児童健全育成事業」などを継続実施します。

特に「放課後児童健全育成事業」に関しては対象者を小学3年生までから小学6年生までに拡大します。

防災対策としては、高田排水機場の建替えである「鳴沢川高田地区内水対策事業」を平成28年度完成を目指し継続実施いたします。また「消防団消防詰所新築事業」なども継続実施します。

本年度は国と連携して地方創生と人口減少克服に向けた対策に取り組みます。地方版総合戦略の策定のほか、人口対策として、国の平成26年度第1号補正予算による「地域住民生活等緊急支援のための

■一般会計歳入内訳



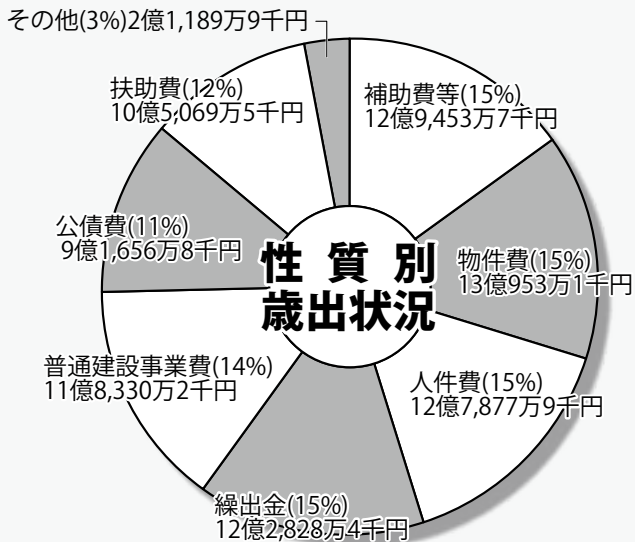
交付金」に対応し、町の平成26年度3月補正予算に「若者定住促進住宅補助金」の追加を行い、本年度に繰り越して実施することを予定しています。これは、平成26年度9月補正予算にて山王土地区画区域のみに先行して予算化した若者定住促進住宅補助金事業を拡大し、全町を対象とするものです。また、人口対策に関連する基盤整備事業として

「町道矢作上野線新設改良事業」などの道路・農道・水路整備事業の継続実施、また同様に関連する産業振興対策として、国の補正予算の交付金に対応し、個人消費の喚起と商業振興のための「プレミアム付商品券発行助成事業」を、町の平成26年度3月補正予算に追加し、平成27年度に繰り越して実施することを予定しています。これは、平成26年

今年度の主な新規・継続事業

市川中学校テニスコート改修事業	2,662万2千円
市川大門町民会館改修事業	2,103万5千円
ひまわり保育園園舎増築工事補助事業	1,513万5千円
六郷小学校大規模改造事業	1,144万8千円
高田公民館屋根改修事業	289万9千円
町制施行10周年記念事業	1,965万4千円
市川南小学校職員室改修事業	663万2千円
山保農村広場防球ネット設置事業	637万2千円
甲斐上野駅駐輪場等整備事業	857万0千円
第2次総合計画策定事業	450万0千円
コミュニティバス六郷線バス更新事業	300万0千円
地域防災計画改訂事業	394万2千円
セカンドブック事業	20万0千円
上野小学校大規模改造事業	2億527万8千円
鳴沢川高田地区内水対策事業	1億4,000万0千円
町道筆鼻川浦線新設改良事業	1,129万7千円
町道宮原一本松線新設改良事業	9,600万0千円
子育て支援医療費助成事業	5,853万7千円
町道矢作上野線新設改良事業	2億5,160万0千円
長寿・医療費給付金事業	2,978万1千円
放課後児童健全育成事業	3,306万6千円

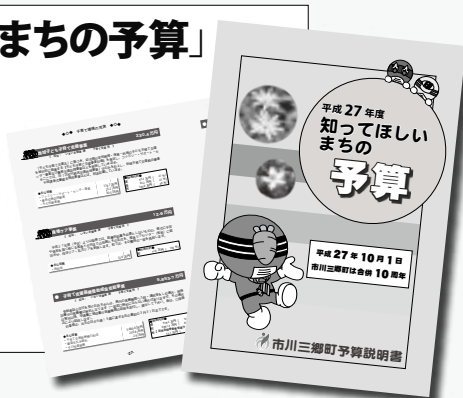
■一般会計歳出内訳



平成27年度版「知ってほしい、まちの予算」

広報紙だけでは伝えきれない今年度の予算や各種事業について、わかりやすく説明した「知ってほしい、まちの予算」を発行します。各戸に回覧し、町内公共施設に設置します。また町HPからもPDFでご覧いただけます。

入手ご希望の方は広聴広報係
☎ 055-272-1101 までご連絡下さい。



歳入（一般会計）

前年度比3・96%の減

歳入の最も大きな割合を占める地方交付税は、地方財政対策の各種指標などによる試算から減額を予測し、36億674万9千円（前年度比4・43%増）を見込みま

度当初予算にも計上した同事業を拡大・拡充して実施するものです。

した。自主財源として最も大きな割合を占める町税は、平成26年11月末現在の調定額等から減を見込み、16億9,393万7千円（前年度比2・29%減）を見込みました。借金にあたる町債は、上野小学校大規模改造事業等に係る起債額の増加に伴い、12億7,810万円（前年度比2・98%増）を見込みました。なお、町全体の平成26年度末の町債の残高は、225億2,933万2千

歳出（一般会計）

性質別歳出状況で見る
財政の状況

円（うち一般会計分は107億4,915万8千円）を見込んでいます。町民一人当たりに換算すると134万4千円になります。

助費、公債費などの支出が義務付けられている経費や、道路や公共施設の建設などといった投資的な経費を知ることができます。家計でいえば人件費は食費に、物件費は光熱水費に、扶助費は医療費に、補助費と繰出金は子どもへの仕送り、公債費は借金の返済と置き代えることができます。これらは必ず支払わなければならない経費で、全体の83%を占めていることから、臨時的に使え

るお金は非常に少ないことがわかります。町では、食費や光熱費（人件費や物件費）などを切り詰める、財政の健全化を図っていきます。

町内の賃貸や売却が可能な

空き家などを 登録して 下さい

市川三郷町空き家バンク制度

町では、町内に存在する空き家などを有効活用し、都市住民との交流や定住を促すことができるよう空き家情報登録制度「空き家バンク」を設置しています。

これまでに、「市川三郷町に住みたい」「空き家情報を知りたい」といった問い合わせが多数ありましたが、個人情報保護法により、こうした問い合わせに答えることができませんでした。空き家バン

ク制度では、賃貸や売却が可能な町内にある空き家などを所有者から登録していただき、これらの物件情報を希望者に公開いたします。

また、町で協定を結んだ全日本不動産協会山梨県本部、韮山梨県宅地建物取引業協会が媒介役として間に入り、交渉から契約等の手続きをサポートしますので、安心して空き家が登録できます。

登録、お問い合わせは

町企画課企画政策係

☎ 055-272-1103 まで

町ホームページもご覧下さい



平成27年度

市川三郷町 消防団体制

(敬称略)

■退団者

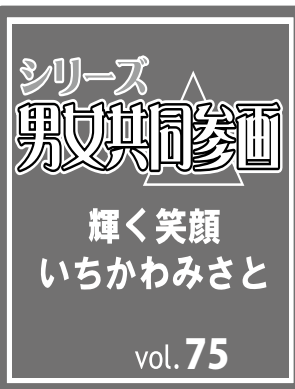
- 第1分団 有泉敏雄、内藤真太
- 第2分団 新津敏信、北村優樹、相沢孝至
八木敬一郎
- 第3分団 塩島福一、土橋邦利、石川伸也
三神浩史
- 第4分団 廣瀬宗康、岸本健太
- 第5分団 渡辺 孝、一瀬敏彦
- 第6分団 芦沢孝一、小沢勇太
- 第7分団 小林千弘
- 第8分団 今村武史、小林芳男、伊藤貴司
依田光俊、羽田猛彦、丸山高仁
- 第9分団 望月英利、笠井康二
- 第10分団 小林直樹
- 第12分団 内藤武士

■入団者

- 第2分団 丹沢忠彦、松野 涼
- 第3分団 小林一史、水上義人、土橋幸介
- 第4分団 丹沢英仁、来城 聡
- 第6分団 芦沢祐弥
- 第7分団 伊藤清文、雁丸大地
- 第11分団 望月雅司
- 第12分団 加藤幸大
- 女性消防隊 薬袋円加、市瀬絵里

■役 員

- 団 長 丹澤忠行
- 副 団 長 有泉 修、渡邊 覚、望月勇雄
- 第1分団 小林洋一、芦沢正和
- 第2分団 池田 猛、丹沢忠彦
- 第3分団 小林一史、水上義人
- 第4分団 関部喜彦、丹沢秀彦
- 第5分団 村松 正、一瀬大輔
- 第6分団 芦澤文久、立川茂春
- 第7分団 石原保志、伊藤清文
- 第8分団 遠藤直樹、榊原 孝
- 第9分団 丸山 仁、小林茂広
- 第10分団 望月 司、上田 匡
- 第11分団 望月真幸、笠井琢実
- 第12分団 芦澤洋至、齊藤貴英
- 女性消防隊 櫻井 操、渡邊麻理



本年度も よろしく願います

こんにちは。男女共同参画を担当して2年目の市瀬です。今月号のコラムは、男女共同参画について担当として学んだ私の1年を振り返り、感じたことを書きたいと思います。

「僕は奥さんを台所に立たせないです」

以前、山梨県立男女共同参画推進センターぴゅあ総合で行われた調理講座に参加した際、参加者の男性が、自慢げに話してくれました。参加者の多くが女性である中、材料を手際よく準備し、見事な包丁さばきで料理を仕上げていく姿が、とても輝

いて見えたことを覚えています。皆さんは今、この一言にどのような思いを抱いたでしょうか？

男女共同参画社会の基本には、男女が自らの意志によりあらゆる活動に参画する機会が確保され、共に責任を担うべきという考えがあります。この意味は、『男らしく』『女らしく』という意識をせず、男女平等の考えのもと『自分らしく』生きましようというだけではありません。もちろん、性別への固定観念にとらわれず、自分らしくその能力を十分に発揮できる環境づくりは重要なことです。ですが、『男だから』『女だから』気づけること、できることは少なからずあると思います。私は講座に参加し、料理の腕があがっただけでなく調理の手間や盛り付けへのこだわり、お子さんのお弁当への応用まで考えていた参加者の皆さんのなかに、確かに男性ならではの視点と女性ならではの視点があることに気づ

きました。

互いの意見や能力を活かしながらつくりあげる料理こそ、日常生活をさらに豊かにするレシピではないかと思っています。

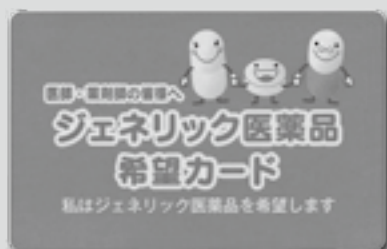
「第2次市川三郷町男女共同参画プラン」は、あらゆる場面で男女が共に参画し、いつでも町民の皆さんの輝く笑顔に出会えるようにと願いをこめてつくられました。男女それぞれが互いの能力や可能性を理解する努力をし、一人ひとりが存分に輝ける豊かな町づくりができるよう、市川三郷町男女共同参画プランを土台として、推進委員さんと共に協力して活動していきたいと思っています。委員会では今年度も、川柳コンテストやフォーラムなどを企画しています。また、男女共同参画推進センターでも幅広い分野の講座を開催しておりますので、発見や学習の場として皆さんもお気軽にご参加下さい。

町企画課企画政策係
市瀬絵里

お薬選びに参加する時代です

**ジェネリック医薬品
希望カードを
ご提示下さい**

町医薬品医療機器総合機構
(くすり相談窓口)
☎ 03-3506-9457
町町民課 ☎ 055-272-1105



ジェネリック医薬品とは

「ジェネリック医薬品」という言葉をよく耳にするようになったと思います。ジェネリック医薬品とは、低価格なのに、安全性や効き目は新薬と同等と認められている後発医薬品のことです。安全性も品質もほぼ同じで薬代が節約できるため、年々増える国民医療費の節減にもつながります。今まではすべて医師まかせだった薬選びに、患者も参加できるようになりました。自分が使うお薬だからこそ、医師や薬剤師と相談しながら一緒に選び、ジェネリック医薬品で薬代の負担を軽くしませんか？

きれいな水を
未来に

公共下水道に 接続しましょう

公共下水道供用開始地区のお知らせ

たくさんの水が、毎日の生活の中で使われています。汚れた水はいつたどこできれいになって、川へと流れていくのでしょうか。

ここで大きな役割を果たしているのが、下水道です。

下水道はトイレや炊事、入浴、洗濯などで毎日大量に流されている汚れた水を下水道管に流して集め、きれいで安全な水に処理してから、再び川や海へ戻す働きをしています。

町では、計画的に公共下水道整備を進めており、今年の3月31日より下図の地区が供用開始となりました。速やかに下水道への接続をお願いします。

■公共下水道接続可能な地域、接続に関することなど詳細は町生活環境課下水道係 ☎055(272)6092まで

■4月から供用開始となった地区



平成27年度は
次の地区で整備を予定しています
市川33組南の一部、下大鳥居3組の一部
黒沢7組・8組・9組・10組の一部
※工事工程が整い次第、地域の皆様に周知しますので、ご協力をお願いします。

結婚

すばらしいご家庭を
両人の氏名



塩澤 拓郎	川口 藍
遠藤 晃史	村松香穂里
青柳 大生	高井 恵
望月 政雄	網倉 亜弥
片桐 拓哉	雨宮 由佳

誕生

元気な赤ちゃん
氏名 届出人 地域

一瀬 楓花	浩基	市川大門
笠井 春輝	斎史	市川大門
渡邊 希心	悠一郎	市川大門
村松 慶悟	克哉	高田
小池 優介	章仁	高田
津幡ひかる	俊成	岩間

※本人・ご家族の申し出があったもののみ掲載



おめでた
おめでとう
3月届出分
(敬称略)





子どもと高齢者の

交通事故防止

春の全国交通安全運動が5月11日から20日(水)までの10日間実施されます。

この運動は、交通事故を防止することを目的に、一人一人が交通安全に対する意識を高め、交通ルールを守り、交通マナーの向上に努め、安全で安心な人になやましい交通環境の改善に向けた取り組みを推進します。

4月は、まだ道路の渡り方に慣れていない新入生が多くいます。子ども達が、安全に安心して通学できるよう、地域の皆さんで見守ってあげて下さい。

また、高齢者の交通事故が増えていきます。皆さんの思いやりの心で交通事故を防ぎましょう。

■交通安全運動中の

重点項目

子どもと高齢者の

交通事故防止

通園・通学する子どもを交通事故から守りましょう。大人が手本となり、基本的なルールやマナーを教え、交通安全意識を高めていきましょう。

Point!

昨年の山梨県内の交通事故死者数全体のうち、高齢者が約半数を占めています。ドライバターの皆さんは、思いやりのある運転を心がけましょう。



全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

正しい着用が命を守る！

Point!

シートベルトは必ず着用。自動車に乗るときは、全ての座席で必ずシートベルトを着用しましょう。

自転車の安全利用の推進

飲酒運転の根絶

5月は気候も暖かくなり、お酒を飲む機会が多くなるシーズンです。

運転者はもちろん、同乗者、車を貸した者、お酒を飲ませた者にも厳しい罰則が！

飲んだら絶対運転しない！飲んだ量が少なくても、アルコールは確実に脳に影響します。

Point!

「少しだから平気」、「近所だから大丈夫」ということは絶対にありません。

■保護者のみなさまへ

子どもを交通事故から守るため、お子さんと一緒に通学路を歩き、子どもの目線に立って、どんな危険があるかをその場で教えてあげて下さい。

具体的に「なぜ危ないのか」「どう注意したらいいのか」を教えましょう。

町総務課防災防犯係
☎055(272)1102

死亡

お悔やみ申しあげます

氏名 届出人 地域

※地域名は亡くなった方の最終住所地です

小林 大 〓 諏訪みずほ

内藤 武士 〓 長田 華子

若宮 明芳 〓 望月あゆみ

石原 康平 〓 武藤 裕美

村松 優太 〓 佐野友里香

伊藤 昭代 和 範 大 塚

赤池ひさ子 敏 男 市川大門

若尾 英樹 澄 子 高 田

尾川 由子 石原大磐 山 保

齋藤 一章 和 広 大 同

遠藤 勝枝 一 磨 大 同

原田 光枝 守 岩 間

小林 勝美 義 雄 落 居

芦澤 一美 遠藤孝子 落 居

井上 政重 三千男 宮 原